

## 【愛知県飛島村】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

AIデジタルドリルやクラウドサービス等多様な学習ツールを用いて子ども自身が自己調整をしながら学習し、情報を収集・活用する能力や課題を発見し解決するための論理的思考力を身に付けるとともに、他者との協働的な活動を経験することで主体的・対話的で深い学びを実現する。

#### 2. GIGA第1期の総括

本村では令和2年度に通信ネットワーク及び1人1台端末を含めたICT環境の整備を行い、令和3年度から運用している。あわせて、オンライン学習を実施するためウェブ会議システム等も導入し、学級閉鎖時等における学びの保障のための取組を行った。

また、ICT支援員を配置し、機器の操作説明や授業支援を続けてきた結果、教員のICT活用力も向上し、現在ではほぼ毎日ICT環境を活用した授業を行っている。

令和5年度からは毎日端末の持ち帰りを実施し、家庭学習においても活用できるようにしており、子どもは端末を学びの道具として活用している。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### (1) デジタル・シティズンシップ教育の推進

GIGA第1期では、1人1台端末環境における学習を進めた結果、子どもにとって端末は学習を行う上で無くてはならないものとなったが、その一方で教育委員会や学校が意図していない端末の利用も見られた。

そのため、デジタル時代においてICTを自律的に活用できるよう、責任あるICTの使い方を学び、よき社会の担い手となるための「デジタル・シティズンシップ教育」を推進していく。

##### (2) 個別最適な学びと協働的な学びの充実

日々の学習の中から得られるデータを収集、分析し、一人ひとりの子どもの特性や発達の段階に合わせた指導を行うことができるよう、教育ダッシュボード機能による情報の連携及び可視化による効果について研究を進める。

また、ICT環境を活用して教員と生徒、生徒同士のより効果的な関わり合いを取り入れられる学習活動についても研究し、協働的な学びの充実を目指す。